

令和2年度 第2回 東京航空局入札監視委員会
審 議 概 要

開催日及び場所	令和2年11月30日(月) 国土交通省 航空局 7階 C会議室	
委員	委員長 橋 爪 宏 達 (国立情報学研究所教授) 委員 高 田 和 幸 (東京電機大学教授) 委員 江 川 淳 (弁護士)	
審査対象期間	令和2年4月1日～令和2年9月30日	
審議概要		
抽出案件	総件数3件	
(1)工事	一般競争(総合評価落札方式)	1件
(2)建設コンサルタント業務等	一般競争(最低価格落札方式)	1件
(3)役務の提供等	一般競争(最低価格落札方式)	1件
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・1者応札の改善策を色々と検討していると思われるが、新規事業者を増やす方策を常に検討し、より公平な広い競争が行われる取り組みを継続すること。	

審議概要(別紙)

1. 工事(一般競争入札/総合評価落札方式)

東京国際空港表面排水溝改良その他工事

意見・質問	回答
<p>○いくつかの独立した工事を纏めて複合的に発注しているが、分割しての発注は現実的に難しいのか。</p> <p>○1者となった理由はいかがか。</p> <p>○総合評価方式にすることによって、企業側の手続きは煩雑、負担になるのか。</p> <p>○主任技術者が担当した過去4年間の工事における成績評価点について、客観的に点数をつける基準になっているか。評価した時に主観的な要素が入っていないか。</p> <p>○全体的に実績を求める評価基準になっている。実績を求めて品質を担保することは重要であるが、新規参入を妨げる項目設定になっていないかの観点も持ちながら、施工能力型を運用していただきたい。</p>	<p>○6つの工事のうち1つの工事が半分以上占めており、その他の工事は規模が小さく、分割して発注すると技術者が配置出来ないなど、不調不落を招く可能性もあり、発注ロットを大きくしている。</p> <p>○入札参加を見合わせた者に確認したところ、他の受注案件と履行期限が重複しており、技術者を配置出来ないなど、技術的な問題でなく、人員的な問題で1者になったと考えられる。</p> <p>○提案を求めるものではなく、施工能力型なので、企業の実績と技術者の能力だけであり、資料作成負担は少ないと考えている。</p> <p>○主観的な要素はなく、客観的な基準で評価している。</p>

2. 建設コンサルタント業務等(一般競争入札/最低価格落札方式)

東京国際空港 N 地区エプロン照明灯設置その他工事外3件実施設計

意見・質問	回答
<p>○数件を纏めて発注している理由は。</p> <p>○過去の同種の案件では、いろんな事業者が受注しているのか。それとも今回の落札業者が何度も繰り返し受注しているのか。</p> <p>○東京航空局管内に本店・支店を有することを参加資格としているが、今までも同様の案件は同じ条件か。</p>	<p>○設計の統一を図る観点から纏めて発注をしている。</p> <p>○管内の空港では、規模は違うが、同種の受配電設備やエプロン照明灯について、別の事業者が参入した実績はある。</p> <p>○不調不落が続いているような案件は、初めから要件を外している。業種ごとに実態が違うので、競争が働いている案件は要件をつけているのが実態だが、全体的に今後整理し方法を考えてい。</p>

○1者応札改善のため、競争を呼び起こす方を検討をしていただきたい。

3. 役務の提供等(一般競争入札/最低価格落札方式)

令和2年度丘珠空港他2空港救急医療等業務請負

意見・質問	回答
<p>○救急医療業務と警備業務、それぞれ独立した業務だが、業務を分けて発注することは出来ないのか。</p> <p>○独立した業務を複合しているため、受注する業者が限られているのではないか。</p>	<p>○それぞれの業務で現場責任者を置くことになり、人件費の部分で国費が増加するため、複合業務で発注することが効果的だと考えている。</p> <p>○地方管理空港や会社管理空港で請け負っている事業者でも参入可能である。しかし、人員確保などで定着しづらいというところがあり、リスクが高く入札に参加出来ないということを聞いている。</p>